

Naoko Tatsumi

直子 通信



[発行] たつみ直子 2022・第3号

〒567-0048
大阪府茨木市北春日丘2-1-10
TEL 072-625-0001
FAX 072-625-9999

公式ホームページ
<https://ibaraki-tatsumi.com/>



お健やかに新年を お迎えのことと存じます。

お陰様で、初当選から1年が経ちました。無我夢中の1年でした。新人ではあるけれど、即戦力でありたい!と活動して参りました。皆様のご要望や陳情も実現できるよう働きかけてきました。今年はいよいよ病院誘致の具体的な内容を策定する年だと、改めてお腹に力を入れて取り組んで参ります。

今年こそ、コロナが終息し、普通の暮らしに戻るよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



12月議会での質問



通学路の安全対策について

質問
01

令和2年6月の八街市の事故を受けて、**通学路の緊急安全点検が行われたが、茨木市では何個所の危険個所があったのか。また、早急に対策すべきだと考えるが具体的な対策は。**

答弁

市内62箇所の危険個所を確認した。注意喚起の看板設置や区画線等の路面表示の新設や更新作業、信号機の時間変更など道路の形状によって出来ることを関係機関と調整し、早急を実施する。

私の思い

元々茨木市は他に類を見ない程、市、学校やPTA、地域と連携して通学路の安全確保に努めています。今回更に緊急点検を実施し、より安全な通学路の確保に努めるよう働きかけます。

病院誘致について

質問
02

病院誘致の
スケジュールと
開院時期について。



答弁

令和4年度上半期を目途に事業者の選定を行う予定をしている。その後事業者が基本計画の策定、基本設計・実施設計、施工、関係者との調整などを行い、開院予定は最短で令和10年度から11年度を想定している。

私の思い

開院予定まで6、7年先とは長いな、といった印象です。しかし、最も大切な事は、必ず病院を誘致し開院して市民の皆様を受け入れること。それを確約することです。一年でも一日でも早く開院できればそれだけ一人でも多くの命が救えるのだという使命感と、この事業への誇りをもって取り組んで頂きたいのです。そのためには私は如何なる努力も惜しみません。

JR茨木駅西側に時計の設置を!!

当選以来何度も要望し続けている時計の設置について建設常任委員会でも質問しました。様々な先輩議員も要望されてきましたが今日まで設置には至りませんでした。理由は、西口再開発と同時に設置予定なのでいずれ撤去する事になるからや、設置費用(数百万)と設置場所がない等です。

しかしJR茨木西口再開発の工事着手はまだ先で、それまで時計がないのは不便であり、多くの方々が利用する駅前で1日何千、何万人の方が時計を見るかを考えると価値ある市民サービスになる事、設置場所も今考え得る最高の場所ならば市民の理解は得れる事等、粘り強く交渉してきました。

そして遂に、設置に向けて前向きに検討するとの手応えのある回答を得ました!

一年生議員ではありますが、皆様に喜んで頂く市政を! その一途な気持ちでこれからも取り組んで参ります。

活動報告



春日丘高校陸上競技部の大先輩、澤木啓祐先生が全国高校駅伝のお仕事で来阪されると聞き、母校でお会いしました。母校の高校総体総合優勝(公立高校では史上初)に貢献された偉大な先輩は、数々の日本記録を樹立され、オリンピックにも出場し、順天堂大学を箱根駅伝で総合優勝に導く事9回。激励して頂き感激いたしました。



年越しと新年は春日丘八幡宮で迎えました。母校の西陵中学校美術部の生徒さんが描かれた寅の絵馬の前で。今年は私の当たり年なので、この寅さんからパワーをたくさん頂きました!頑張るぞ!

世界の中心はどこ?

column
ココナオコ

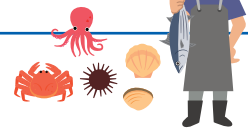
私がJICAの青年海外協力隊員として2年間赴任したネパールは、世界最貧国の一つで、病院も道路も電気も水道整っていない地域が多く、私の赴任地ポカラの郊外の村々もそうでした。早朝、ヒマラヤの麓の村へ医療キャンプに訪れた時、山の斜面の家の前で勉強をしている登校前の子ども達がありました。電気がないから太陽が出ている時間に勉強するのです。また、家で家族に助けられながら何人目かの赤ちゃんを出産するお母さんがいました。バスやリキシャに乗るお金がなく、私の勤務するクリニックに何時間も歩いて検診にくる妊婦さん達。乗合トゥクトゥクでぎゅうぎゅう詰めでも更に詰めて座らせてくれる心優しいネパールの人達。子連れのお母さんやお年寄りには必ず席を譲ります。行政のサービスが届かなくても、助け合いながら生きる人々がそこにはいました。世界では綺麗なオフィスでブランドのスーツを着た人が、これがグローバルスタンダードです、とパソコン片手に得意げに語っています。私は不思議でした。あの偉い人たちはこの村に来たら生き延びれるのかな? 私は確信していました。世界の中心は決して東京やニューヨークやパリのような都市ではなく、こんな辺境といわれる村とそこに遅く暮らす人々なのだ、と。

困難の中にあっても強く遅く生きる人々、そんな生き方に心を打たれないはずがありません。誰かの幸せに寄与する仕事を一生続けたい、そうはっきり決心した私がありました。



編集後記

年末、茨木市宮島の中央市場に行きました。実家が商売をしていたので私にとって市場は幼少から連れて行って貰っていた大好きな馴染みの場所です。コロナ禍でいつもの年末程の賑わいはありませんが、それでも正月用品を求めて一般の方で混みあっていました。5月の新棟オープニングでテープカットをさせて頂いた際に挨拶でも述べましたが、今年は食を通じて市民の皆様に新たな価値を感じて貰えたらな、と思います。



たつみ なおこ 辰見直子プロフィール

茨木生まれ・茨木育ち

- ▶ 昭和49年 9月2日茨木市北春日丘に生まれる
- ▶ 昭和56年 茨木市立沢池小学校入学
- ▶ 昭和62年 茨木市立西小学校卒業
- ▶ 平成 2年 茨木市立西陵中学校卒業
- ▶ 平成 5年 大阪府立春日丘高校卒業(陸上部)
- ▶ 平成 9年 京都女子大学文学部卒業

国際ロータリー第2650地区ガバナー事務所 入職
ロータリー財団等の職務に携わりながら、自身も国際協力の仕事を担当し、ミャンマーやチベット、パヌアツ等へのプロジェクトに参加。

- ▶ 平成15年 国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊(JOCV)に合格し、2年間の任期でネパールのポカラに赴任。母子保健や公衆衛生などの事業を現地のスタッフらと協力し、活動。
- ▶ 平成21年 (一財)茨木市保健医療センター 入職
- ▶ 令和 3年 茨木市議会議員選挙 初当選

[家族] 長女・長男の3人家族

[趣味・特技] ヨガ、ネパール語、クイズ (テレビ番組「アタック25」に出場し、優勝経験あり。その年のチャンピオン大会にも年間3位として出場)